



▲花の苗の植え替えをされる女性プロジェクトのメンバー

エムがる

女性ならではの取り組み

「地域のことは地域の手で」を合言葉に、平成13年に美山町で知井振興会が設立。その中で、女性の意見やアイデアをもっと地域社会に生かしていこうと、平成18年6月に『知井女性プロジェクト委員



会』が結成されました。登尾まゆみさん（右の写真）を代表に、女性による美しい景観づくりとして「花いっぱい運動」を展開されています。

登尾さん

「地域で出番の少なかった私たちが女性ができることとして、花の苗作りをして、プランターに植え替えて集落のバス停や人の集まる場所に飾りました。知井に住む人たちが自信を持って誇れる環境を作り、訪れた人にも名所として『また来たい』と思ってもらえたら嬉しいです。私たちの取り組みが少しずつ広がって、集落のみならずも花に水をやってくれますし、景観や環境への意識が高まったように思います」

首にタオルを掛け、軍手に長靴姿。スコップで土を混ぜ合わせ、重いプランターもチカラ強く持ち上げて次々と運んでいく。にぎやかに話に花が咲いていても、手元はひとときも休まることはありません

せん。それは女性たちの「わが里を花で美しくしたい」という強い思いの表れでしょう。

登尾さん

「今年は、見守り活動の一つとして、花の苗を『花便り』として地域の高齢者宅にも配達したいと思っています。それから、時間はか

つながる

ゆるぎなきものに

皆さんは、自分の住むまちをどのように思われていますか？「暮らしやすい」「住み続けたい」、そう思えるようにするためには、「誰かが何かをしてくれる」のを待っているのではなく、「自分たちで何とかしよう」と動き出すことが大事なのではないでしょうか。

地域の魅力は、住んでいるから分かるもの、訪れてこそ分かるもの、離れてみてから分かるもの、さまざまあるでしょう。

小さな活動がやがて広がり、人と人、地域と地域がつながってこそ、ゆるぎないものになるのではないのでしょうか。一人一人の一歩が、地域の大きなチカラになる。

今こそ、『ひらけ、つながれ、地域のチカラ』。

かりますが、地域を見て回って『知井花の見所マップ』の作成に向けて取り組んでいきたいです」

苗の植え替え作業に、ご近所さんから「お、プロジェクトか。ごころうさんやなあ」「何の花が咲くんや？」と、明るいやりとりが広がっていました。

地域力再生プロジェクト交付金

今回取材をした4つの団体は、京都府が実施する地域力再生プロジェクト支援事業交付金を有効に活用されています。平成19年度から始まったこの交付金事業は、地域住民が主体となって、環境保全や地域おこし、子育て支援や防災・防犯活動など地域のいろいろな課題に取り組む団体に対し、その経費の一部を補助するものです。

今年度が事業の最終年度となります。9月に第2回募集がありますので、申請をお考えの団体は本事業の詳細について市役所企画推進課（TEL0771-68-0003）へお問い合わせください。

※9月以降に着手し、来年3月末までに完了する事業が対象です。